



2018-2019年度 主題

国際会長 : Sangbong Moon "Yes, We Can Change"  
 「私たちは変えられる」  
 アジア太平洋地域会長 : "Courage to Challenges"  
 田中 博之 「挑戦への勇氣」  
 東日本区理事 : 宮内 友弥 「為せば、成る」  
 湘南・沖縄部長 : 佐藤 節子 "No challenge, No fruit."  
 「心を元気に 絆を深め合える  
 ワイズを目指そう！」  
 クラブ会長 : 岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



今月の聖句

わたしはあなたがたを遣わす。  
 それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ。  
 だから、蛇のように賢く、鳩のように素直になりませい。

マタイ10・16

(信徒の友、「みことばにまき」より)

2018年10月本例会

10月の本例会は、毎年恒例の移動例会です。今回は、新たに横浜YMCAのキャンプ場として再出発する「三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ」の訪問を中心に秋の三浦半島を訪ねます。

日時：10月26日（金）

横浜市営地下鉄

センター南駅エスカレーター下集合。

出発：9：00

訪問先

報国寺（竹林）

三浦YMCA GEV

昼食

城ヶ島

三浦海岸

三浦漁港

夕食

センター南着 19：00



巻頭メッセージ

鈴木 茂

**私**たちが今ある地球資源をすべて使ってしまい、将来の**私**びとに何も残さない開発は持続可能ではありません。持続可能な開発とは、私たちが生活するこの地球環境を大切に守るとともに、他者や子孫を思いやり、共に成長する取り組みであります。ご存知のことと思いますが2015年9月、国連総会は17項目と169ターゲットから成るSDGs（持続可能な開発目標）を全会一致で採択しました。SDGsはわれわれのみならず、子孫の代も安心してより良い生活を送ることができるように、2016年から2030年までの15年間、貧困や飢餓の撲滅、平和で公正な社会の実現、人権・ジェンダー等の平等の実現、地球環境や天然資源の持続可能な方法による管理など、世界各国が取り組むべき開発目標であります。SDGsの最大の特色は、先進国や途上国を問わず、すべての国が「誰一人取り残さない」ことをキーワードとして、行政、民間企業、市民団体等が協力して達成すべき開発目標として設定された点にあります。今やSDGsは企業や行政の広報紙などでよく見かける流行語にさえなった感があります。



**元**来SDGsの趣旨に即した活動を展開してきたYMCAも最近、SDGs運動に本格的に取り組み始めています。ワイズメンズクラブも実は以前から、国際・交流事業を通じた平和・友好活動、UGP献金によるHIV/AIDSやロールバックマリア活動、さらにはCS・YMCAサービス事業として青少年の健康増進活動、高齢者や障がい者に対する応援・支援活動、海・川・森林などの自然環境保護活動などを推進してきました。つまり「ワイズ」は設立の当初から、SDGsと同様の社会・環境開発活動に取り組んできたわけであります。この点は、今般新しく制定された東日本区定款「前文」に「世界のそして私たち東日本区の会員は、相互の絆を深め、愛と奉仕を通して、世界の平和と人類の幸福の実現に寄与することができるよう、絶えず努力を続けていきます」と高々と宣言している通りであります。

**ま**のように「ワイズ」は、YMCAとともにSDGsに関しては先輩格とも言えますが、SDGsには人類存続に向けた強い使命感があり、それ故に目標達成のための活動については、常にレビューをして活動をバージョンアップすることが求められています。いわゆるPlan⇒Do⇒Check⇒Actionのサイクルを回し、改善・見直しを図ることがSDGs活動成功の鍵となります。これは「ワイズ」における国際・交流活動やCS・Yサ活動においても同様だと思われまふ。この機会に「ワイズ」がSDGsに協力している団体であることをアピールし、人々の認知度を高めることを通して、一層の会員増強に繋げてゆきたいと考えています。

(完)

## 9月度本例会報告

日時 2018年9月28日（金）18:30～  
 場所 かけはし都筑（都筑区社協）  
 出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、鈴木K・S、杉本、辻Ts、福島、三木、山中、横田（15名）  
 （ゲスト）赤間廣さん、大島美和さん、上月永文さん、高松満至さん

※今回は、翌日にYou & I コンサートを控えていることから、恒例の会食懇親会を取りやめ、お弁当をいただいてからの会議としました。（19:00開会）

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソングと信条の唱和
3. 今月の聖句と開会祈祷 鈴木S
4. 会長挨拶 会長
5. 卓話：赤間廣さん 演題：大相撲の歴史と伝統  
 ◇相撲の歴史：古く古事記、日本書紀に記された故事にちなんだ宮中行事として栄えたが、武家政治に移り一度はすたれるが、鎌倉時代から戦国時代にかけては、戦闘訓練としての相撲が行われる。織田信長が好んだところから全国から力士を集めて上覧相撲が行われ、戦いのなくなった江戸時代に庶民の楽しみとなる。  
 ◇江戸時代の土俵は直径3.94m（現在は4.55m）、決まり手は82手。  
 ◇今の大相撲では、懸賞金は50本まで決められており、一本の内訳は、5,300円が協会の事務経費、納税充当金として26,700円を本人名義の預かり金、勝ち名乗りで力士が手にするのは30,000

円で、合計62,000円。  
 ◇幕内優勝賞金は一千万円、3賞は各300万円。  
 ◇入場料は、マス席で一人一万円強だが、朝8:30に序の口の取り組みが始まり、16:00から中入りで18:00に終了と一日楽しめるので決して高くない。等々、大相撲にまつわる様々な興味あるお話をご披露頂いた赤間さん、ありがとうございました。



（9月度本例会開催状況）

6. 事務連絡  
 ①翌29日の「You & I コンサート」の取り組み体制の確認を行った。今回は、近隣のYMCAより大勢のボランティアが参加してくれる。なお、ボランティア総勢約30名となる。  
 ②横浜YMCAのチャリティーランは10月21日（土）
7. Happy Birthday  
 9月15日 山中奈子さん
8. 閉会点鐘 会長  
 （岡崎 さよ子 記）

### 《今月のお誕生カード》

TKBのお仕事会で、今月のお誕生カード作りをしました。カードは宮城県山元町の「みやま荘」、「つばめの杜保育所」と福島県南相馬郡原町の「原町聖愛保育園」のお誕生日を迎える皆さんにお送りしました。ところで、TKBお仕事会では毎回準備から指導までくださる林 理子さんが8月に受けられた大手術の後、つらいリハビリを頑張って行い、今は、杖を突いて歩行可能のところまで回復されました。今月中旬からリハビリ専門の病院に移られ、しばらく訓練を続けられるとのこと。

神様のお癒しがありますように、TKB一同心からお祈りしています。  
 （今城 宏子 記）



## 10月事務例会報告

## 2018年10月事務例会報告

日時：2018年10月9日（火）18：00～20：00

場所：田園都筑教会

出席者：今城T、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、鈴木K・S、辻Ts、福島、横田（11名）

1. 開会点鐘 岡田勝美会長
2. 会長挨拶 岡田勝美会長

## 3. 報告

- ①9/29（土）You & Iコンサート（今城T）
  - ・参加者350余名。特に、障がい児の参加が多かったやに見受けた。子供たちを舞台に上げるプログラムが好評だった。
  - ・横浜YMCAスタッフの協力が大であった。
  - ・来年に向けて準備を始めたい。
  - ・2019年は9/28（土）を仮予約した。
  - ・今回の事務処理として、公演期間編終了報告書の作成/提出を進める（今城T）

## ②都筑区社協の助成金申請手続きについて・・・

- イ) ふれあい助成金、ロ) 善意銀行、ハ) 年末たすけあい募金事業助成の3つがある。ハ) については10/16（火）18：30～説明会があり会長、書記が出席予定。

## 4. 協議事項

- ①第21回横浜YMCA「インターナショナル・チャリティーラン2018」10/20（土）みなとみらい21地区（雨天決行）8：00 集合  
9：00受付開始 つづきクラブは受付担当：  
参加者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木S、辻Ts、横田、
- ③移動例会（三浦YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ、三崎漁港他）  
10/26（金）集合8:45 センター南駅  
会費1万円  
参加予定者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、杉本、鈴木K・S、辻Ts、福島、三木、横田、（ゲスト予定）：高松、三木、臼田、

- ④北YMCAまつり（バザー）：11月3日（土・祝）  
前日準備11/2（金）15：00  
参加者確認：岡田K・M、鈴木S、久保、横田  
当日 11/3（土）参加者：岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、辻Ts、横田

## 5. 今後の予定

- ◇10/13（土）  
第3回ワイズカップチャリティー幼児サッカー大会  
横浜クラブとつづきクラブが共催。  
9：15開会式（9：00に現地集合）
- ◇10/15（月）街頭募金活動（赤い羽根）  
16：00～17：00 センター南駅  
10分前にスキップ広場集合
- ◇10/20（土）第21回横浜YMCAチャリティーラン
- ◇10/21（日）福祉農園（収穫イベント）  
JA横浜きた総合センター 9：00～15：00  
岡田K・M参加
- ◇11/3（土）横浜北YMCAまつり
- ◇11/13（火）事務例会
- ◇11/15（木）東日本被災地支援活動。みやま荘、つばめの杜保育所訪問  
参加者：辻Ts、久保、石丸ワイズ
- ◇11/17（土）部評議会 出席：今城T、岡田K
- ◇11/23（金）本例会（シンキングデイ 鈴木S）  
開始15：00、2F集会室
- ◇11/28（水）～12/4（火）ささえ愛福祉週間でのパネル出展 11/28（水）9：30かけはし都筑集合  
手伝い：今城T、岡田K・M、辻Ts、横田

## 6. 各担当よりPRと予定

- ・プリテン原稿依頼（今城T）・・・依頼表参照
- ・2019.3月 本例会卓話者は加藤孝久氏を予定
- ・エクステンション委員より（辻Ts）・・・鶴見地区ワイズの設定準備委員会が発足。つづきクラブの例会を見学したい。

## 7. 閉会点鐘 岡田勝美会長

閉会後は中華料理「一心」にて懇親会

（岡田美和 記）

## ～お詫び～

9月15日発行の本プリテン149号に掲載予定の、当クラブ9月度事務例会の開催報告は、編集上の不手際により欠落いたしました。報告書作成者並びに読者の皆様に深くお詫びいたします。（編集子）

## ～ご注意事項～

10月の本例会は移動例会です。お間違いないようお気を付けてください。今回は、三浦半島の三浦YMCAグローバルエコヴィレッジ訪問を主な目的に三浦半島をドライブします。近くにありながら、なかなか行くことがない三浦半島の旅を楽しみましょう。（移動例会 幹事団）

## 《特別報告》

## 第8回 You &amp; I コンサート

## 朝9時

クラブのコンサート担当者数名が公会堂入り口に集合。公会堂開門を待って受付で登録完了。長い一日の始まりです。ステージ上では、公会堂関係者により反響板の設置作業が進められています。

ボランティアの皆さんが会場に集まり始めます。今回は嬉しいことに、つづきクラブ担当の横浜北YMCAからの3名に加え、近隣のYMCA各施設より計8名のスタッフがボランティアとして参加してくれました。予め決めた役割分担に基づき、それぞれが準備に携わります。場内では、客席前方の座席を取り外し、車椅子での来場者に備えます。10時過ぎには演奏者の皆さんが集まってこられ、リハーサルが始まる頃には、ボランティアのほぼ全員も集まって準備作業に余念がありません。

## コンサートの始まり

今から約9年前、“横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ”の創立5周年記念の行事を検討していた際、仲間の一人が、大和YMCAが行っている「輪和Waコンサート」のことを報告してくれました。色々調べてみると、我々の思いにきわめて近いと感じたことから、いろいろ教えていただくとともに、肝心の演奏者の方たちも紹介していただきました。手探りで準備を重ね、2011年7月2日に第1回のコンサートを開催するにこぎつきました。折しも、その年の3月

には、東日本大震災が発生しており、北YMCAと共同で、会場入り口での支援募金を募ることとなりました。あれから8年、横浜室内合奏団の演奏によるバリアフリーのクラシックコンサートは今も続いており、去る、9月29日に第8回目のコンサートを開催することができました。

## 横浜室内合奏団

佐藤大祐さん（フルート奏者/音大教授）が代表を務める室内合奏団で、当初からほとんど変わらぬ7名編成の管弦楽団で、フルート、クラリネット（各1）、ヴァイオリン（2）、ヴィオラ、チェロ、コントラバス（各1）の構成です。毎回のコンサートでは後半に、佐藤さんご自身の書下ろし台本に、仲間の作曲家が曲をつけたオペラが演奏されます。今回は4名の声楽家が変わり、総勢11名の出演となりました。横浜室内合奏団は、全ての人が楽しめるコンサートを目指しており、夏には、東北の被災地を訪問しての子どもコンサートや、横浜でのクリスマス子どもコンサートなどにも力を注いでおられます。

## ボランティア

このコンサートは、我々ワイズと地域の障がい児・者支援NPO法人4団体、横浜北YMCAで構成する「You & I コンサート運営委員会」が主催し、つづきクラブが事務局を務めます。コンサート入場者のほとんどは、これら各団体の案内で集まった方々で、多くの障がい児・者の（次頁へ）



来場もあり、このコンサートの趣旨が全うされています。また、我がクラブを含む各団体がボランティアを派遣して実際のコンサート運営を行います。今回も約30名のボランティアが参加しコンサート運営を支えてくれました。ボランティア全員が集う昼食（お弁当）時間に、各自の自己紹介が行われミニ交流会の体をなします。所属はそれぞれ異なりはしますが、同じ目的に向かうボランティア達が連帯の思いを感じるひと時です。

## 支え

このコンサートは様々な機関の支援をいただいて開催されます。都筑区、横浜市教育委員会、都筑区社会福祉協議会が後援者として名を連ねてくださいます。都筑区の後援をいただいている結果、公会堂が優先使用可能となりました。外れるかもしれない抽選に参加する必要がなくなりました。都筑区社からは、毎年「ふれあい助成金」の配布を受けてコンサートを運営しています。市教育委員会が後援してくれることにより、地域の学校や施設へのアクセスがスムーズになりました。さらに、横浜YMCAのチャリティーラン収益金による支援、ワイズ湘南・沖縄部の地域奉仕支援金などがコンサート運営に不可欠な財源となります。



た。後で聞いた話によると、普段はほとんど話をしない子どもさんと、親御さんもびっくりしたとのことでした。こんな飛び入りもありながら素晴らしい演奏は続き、休憩の後、第二部、オペラ「マッチ売りの少女」へと移ります。内容は一応オリジナルに沿ったものではありませんが、佐藤代表の言う「ドリフを目指すオペラ」の通り、ドタバタとハッピーエンドで会場が大いに沸いたのは毎度のことです。

こうして、約2時間のコンサートがつつがなく終了しました。



## いよいよコンサート開演

コンサートの開演です。開場時間の13:00に心配された来場者の出足も徐々に増え、開演の14:00には大方の席が埋まる盛況を呈していました。とはいえ、主催者が目標とする「公会堂満席」にはまだ及びません。今回の来場者数は推定330名、ボランティアを合わせて約360名程度となりました。公会堂の定員の600にはかなりの努力が求められます。

とはいえ、会場内は大いに盛り上がりました。

第一部の途中、合奏団佐藤代表の提案で開演前に急遽決めた、子供たちにステージ上を行進していただくプログラムは大成功。YMCAスタッフたちの手慣れたリードで、子供たちは「となりのトトロ」の曲に合わせ、客席とステージをぐるぐる何度も回りました。演奏の後、一人の可愛い女の子がマイクをとって、楽しい思いを必死になって話してくれまし



ニコニコ顔で家路につく子どもたちを見ていると、また来年も！という気持ちが沸き上がってきます。

このコンサートを支えてくれた多くの人たちに心より感謝します。皆さんに支えられてきたこのコンサートが、今後も続くことを祈りつつ、ボランティアの皆さんと会場の後片づけを行いました。

さて、この後は、つづきクラブの仲間、ボランティアの皆さん共々打ち上げ会場、センター南駅前の「ガブリエル」に向かいます。皆さん、本当にありがとうございました!!!

(You & I コンサート事務局 今城高之 記)



